



AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION

THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO SETAGAYA

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

C/O TOKYO YMCA MINAMI CENTER 3-23-2 MIYASAKA, SETAGAYA-KU, TOKYO, 156-0051 JAPAN

国際会長主題	「ともに、光の中を歩もう」(Let Us Walk in the Light Together)	Henry Grindheim(ノルウエー)
アジア太平洋地域会長主題	「ワイズ運動を尊重しよう」(Respect Y's Movement)	Tung Ming Hsiao (台湾)
東日本区理事主題	「広げよう ワイズの仲間」(Extension Membership & Conservation)	栗本 治郎 (熱海)
東新部部長主題	「E人(イーヒト)になろう!」	伊藤 幾夫(東京多摩みなみ)
クラブ会長主題	「ワイズに参加し 奉仕する喜びを伝えよう」	寺門 文雄 (東京世田谷)

Join us to Y's, & pass on pleasures thru services.

会長 寺門 文雄
副会長 松井 直樹
書記 太田 勝人

2018年3月会報

強調テーマ
* B F *
メネット

会計 小原 武夫
直前会長 岩崎 弘
担当主事 岡田 ナスカ

↑今月の聖句

そこで イエスは言われた。
“剣をさやに納めなさい。
剣を取る者は皆剣で滅びる。”
マタイ 26-52 (竹内 隆 選)
“Put your sword back in its place”
Jesus said to him.
“All who take the sword will die
by the sword.”

プログラム

- 司会 (東京西クラブ) 大野 貞次 君
1. 開会点鐘 (東京西クラブ) 本川 悦子会長
2. ワイズソングとワイズの信条 一同
3. ゲスト&ビジター紹介 岩崎 弘 直前会長
4. 今月の聖句朗読と祈禱 山田利三郎 君
5. 食前の祈り (東京西クラブ) 山田利三郎 君
6. 会 食
7. 卓 話 「知られざる昆虫の世界」
森田 誠司 氏
8. ハッピーバースデー
(東京西クラブ) 21日 吉田 明弘君 31日 大野 貞次君
(東京世田谷クラブ) 30日 小原 武夫君
9. 結婚記念日 2日 小原 武夫君 4日 寺門 文雄君
10. ニコニコ献金
11. 諸報告
12. 閉会点鐘 岩崎 弘 直前会長

※ 3月例会プログラム

と き 3月15日(木) 18:45~21:00
と ころ 東京YMCA山手センター
電 話 03-3202-0321

2月のデータ	会員在籍 15名	例会出席者 2/16日	2月のBF 切手 0g 現金 26,000円 累計切手 0g	ニコニコファンド 2月 6,750円 年度計 64,508円
	出席率 73%	会 員 11名 メネット 0名 メイキャップ 0名 ゲスト 3名 ビジター 2名 合計 16名		
第2例会 2/22日(木) (8名出席) 朝倉、太田、小川、小原、 川嶋、張替、村野、岡田、	すずらん会参加者 2/22日(木)	東京世田谷ワイズメンズクラブは 2017年10月31日 社団法人日本 キリスト教海外医療協力会に年会費 10,000円を納入し継続しました。	JOCS累計 使用済み切手と併せて 注: JOCS 献金記録の掲載 すずらん会やコミュニティコンサート ではかねてよりJOCSへの応援を行って いる。 使用済み切手とワンコインの 献金など。	
	ゲスト 43名 スタッフ 11名 合計 54名			

※ 本日のメインプログラム

今年も早3月、恒例のあずさ部・西クラブとの合同例会開催月となりました。

先輩たちの努力により引き継がれた、部を超えた交流を通じて楽しく語り合い情報交換の場が与えられていることに感謝をしたいと思います。――――

(寺門 記)

◆森田誠司さんのご紹介

卓話、昆虫のオサムシ科のゴミムシの数少ない研究者の森田誠司さんをお招きします。

ゴミムシはあまり知られていませんが、オサムシは昆虫好きだった虫プロの手塚治虫さんのペンネームの由来でもあり、手塚さんが中学時代、ゴミムシを友達に「きれいだろう」と見せたことが記憶されています。

鳥観という言葉がありますが、虫を通して見えてくるものを考えたいと思います。

(東京西クラブ 吉田明弘ワイズより)

※ 2月 例会報告

例会のお話は「おひとりさまの終活」です。介護をきっかけに、医療と介護、福祉分野への関心を深めた中澤まゆみさんは「おひとりさま」シリーズを5冊も発刊しておられます。



世田谷クラブでも富田さんは97歳、寺門さんは腰痛で81歳、小川さんは70歳でおひとりさまになりました。私たちもうすぐにも迫ってくる終活の話でした。

パワーポイントで近年のデーターから、高齢化の状況を解説してもらいました。その中で、突然介護する側、される側になる事、これが終活の必要性があるのですね。それはまず、おひとりさまの状態にならないこと、自分の居場所を作り仲間づくりが必要と言われました。11月例会でも阿藤京子さんの「地域包括ケアとシニアの役割」と題するお話でした。そこで話された地域包括ケアは

これからのクラブ活動の参考になると聞いていました。中澤さんのパワーポイントをクラブのPCと私のUSBにコピーさせてもらいましたので、活用できればよろしいですね。(村野 記)

◆世田谷ワイズメンズクラブの例会に誘われて

スペイン語サークルの太田先輩に誘われて、ワイズメンズクラブの1月例会に参加させていただきました。

YMCAとは青年、特に学生に対してのサービス機構だけと思っていましたが、今回例会に参加して幅広い分野で活動している組織だと言う事が解りました。

プログラムが進行するに従ってクラブがどの様に活動しているのかが理解出来ました。高い目標を掲げ、情熱を注ぎ、生々とした“大きな愛”という暖かい心で会を運営している事が、良く解りました。

皆様が生々として情熱・愛という暖かい雰囲気がいっぱい溢れている空気が私をすっぴり包み込んでくれたと感じた私は素晴らしい人達と出会えたことの喜びを感じて幸せで有意義な時間を戴いた事に感謝しています。

(赤堀 博さん 記)

※ 第2例会報告

日時：2月22日(木) 16:00~17:00

場所：経堂緑岡教会

出席者：2月は東新部部長の公式訪問があり、伊藤部長、細川直前部長、佐藤監事、石田会計担当の4名と世田谷クラブからは、朝倉、太田、小川、小原、川嶋、張替、村野、岡田の8名で合計12名となった。

打ち合わせ事項

3月のブリテン内容決めと担当割り振り

原稿締切り：3/2 印刷日：3/5(月) 16:00

報告事項

- ① 2/8 東京センテニアルにて入会式あり。
- ② 2/8 YMCA国際部委員会がYMCA本部にて開催。
- ③ 2/9 YMCAにほんご学院に留学中の学生によるスピーチコンテストがあり、「世田谷クラブ賞」を台湾からの「チチェン ティン」君に贈呈。
- ④ 2/17 4部合同EMCシンポジウムを山手センターにて開催。66名参加し、活発な議論を通して「決意表明」を発表。
- ⑤ 2/22 役員会に東新部伊藤部長はじめ役員「公式訪問」があり、我々の活動状況を見てもらい、講評もいただいた。

協議事項：

- ① 新入会員候補者の入会とロースターへの掲載タイミングについて協議したが、あくまでも「入会候補者が世田谷クラブに入りたい」と言う気持ちになってもらう事が第一、との認識で一致。
- ② 卓話者：スピーチコンテストの最優秀賞受賞者(モンゴル)、世田谷クラブ賞(台湾)受賞者を例会にお招きして南センターのリーダー達にも聞いて貰おうとの協議をした。それによって、4月、5月の当初の予定卓話がずれる可能性のあることを確認した。(太田 記)

※ 4部合同 EMCシンポジウムに参加して

2月17日(土) 13:30~16:30 東京YMCA 山手センターにて東新部・関東東部・あずさ部 湘南沖縄部の4部合同EMCシンポジウムが開催された。むかでクラブの櫻井さんの司会進行で、冒頭伊藤部長と太田エクステンション委員長から会員増強の現状報告と課題の発題がなされた。

YMCAから星野副総主事によるYMCAポジティブネットについてあらためて解説があり、休憩の後、下記パネリスト諸氏による発題と参加者ディスカッションが行われた。



所沢クラブ	2014年転入会	渋谷 弘裕さん
東京多摩みなみクラブ	2016年 入会	石田 孝次さん
東京武蔵野多摩クラブ	2016年 入会	大輪 国史さん
横浜クラブ	2015年 入会	古賀健一郎さん

会員減及び増強の困難さについてそれぞれ固有の課題が議論されたが、とりわけ東京多摩みなみクラブの石田さんの提示された「ワイズが直面している諸問題」と題する詳細なチャートが出色で、この中に総ての課題が包含され、今後成すべきアプローチのヒントが示されていると感じた。

いずれにせよ、もう議論の時期はとうに過ぎ、今や課題を絞り込み、タイムスケジュール立てを急ぎ、一つ一つ具体的アクションプランを実施する段階なのだろう。

横浜クラブの加藤さんから「今こそ法人化について考

えるとき」という再提言があったり、司会役の櫻井さんから“Cの問題”につき卒直な発言があるなど、従来の東新部単独のEMCからは考えられない活発な参画があり、広がりや深みのある大変有意義な会であったと感じた。

伊藤部長他、参加各クラブ代表による最後の決意表明をどのように受け止めクラブ内に浸透せしめるか会員一人一人が問われている。

参加者総数は66名。世田谷クラブからは太田さん小原さん、村野さん、張替の4名が参加。

(張替 記)

※ 東京YMCA にほんご学院

“スピーチコンテスト”に参加して

「世田谷ワイズメンズクラブ賞を贈呈」

さる 2/9(金) 東京YMCA東陽町センター1階の視聴覚室にて、10:00~13:00まで開催され、わが世田谷クラブから 小原、張替、太田の3名が出席しました。

現在YMCAにほんご学院にはアジアの各国から160余名の留学生が日本語を学んでいます。年々ベトナム、中国などからの学生が増え大変盛況であります。



来日1年以内の学生を中心に「初中級の部」とそれ以上の学生対象の「中上級の部」と2つに分かれてコンテストは行われました。

今年は、「初中級の部」で中国からの「王 公照」君の“暴走族”が最優秀賞に選ばれ、「中上級の部」でモンゴルからの「エンフバヤル サインザヤー」君の“夢への道”が最優秀賞に選ばれました。

わが「東京世田谷ワイズメンズクラブ賞」は「中上級の部」の中で台湾からの学生で、“ボランティアの体験から」と題したスピーチをした「チチェン ティン」君に贈呈しました。

近い内のいつか例会にお呼びして彼のスピーチを皆さんにお聞き頂き、南センターに所属するリーダー達にも聞いてもらって、何か励みになる機会となれば、と思っています。

皆様のご理解、ご支援に感謝いたします。

(太田 記)

※ 東日本区次期役員研修会に参加

3月3日、4日、全日本YMCA同盟青少年センターの東山荘で、東日本区の次期会長・部役員研修会が、開催されました。3月3日は、東日本区の現況、アジア太平洋エリア・国際の現況、ワイズ・YMCAパートナーシップの説明から始まり、ワイズ事業次年度の準備・目標・活動方針の説明がありました。夕食後、各部に別れ部長方針に基づき話し合いを持ちました。3月4日には、IT利用と情報伝達、部役員の役割等の説明があり、会議を終了しました。

(朝倉 記)



※ 会長通信 1803

ピョンチャン・オリンピック冬季大会も羽生結弦の金メダルに日本中が湧きかえった感動が残る中で、如何に多くのアスリート達が、怪我を克服し乍ら精進する姿に更に感激したことでした。不可能を可能にしようとする意思の強さ・逞しさこそが正に奇跡を生み出すのだらうと、ただ感心している自らの不甲斐なさを思っています。

高齢社会に生きる老人として、将来の夢が失われ、生きる楽しみを見出そうと必死に摸索する者達に『歳だから仕方がない』と切って捨てる風潮に如何なものかと抵抗心が湧いてきます。高齢社会の進行により老人も出来るだけ自立を求められる環境にあつて、老年弱者の立場を乗り越えて、晩年の居場所としてのワイズの働きこそ互助・共助としてますます重要性を増してくると信じています。

(寺門 記)

*今後の卓話予告

4月 吉村桂充さん(上方舞友の会)による
卓話と舞い

5月 YMC Aにほんご学院スピーチコンテスト
「世田谷クラブ賞」受賞の
「チチェン ティン」君ともう一人の賞受賞者
によるスピーチと交流

(なお、「朝鮮通信史」の卓話は後日実施します)

6月 全員で1年間の「評価」

*今後のスケジュール

- 3/6-7-8 YMC A 妙高高原ロッジ
“感謝・さよなら パーティー”
- 3/9 (金) 下北沢すずらん会
- 3/15 (木) 第1例会(東京西クラブとの合同例会)
——山手センターにて18:45より
- 3/16 (金) YMC Aにほんご学院卒業式(東陽町)
- 3/22 (木) 14:00 YMC Aすずらん会
16:00 第2例会(緑岡教会)
- 3/28 (水) ボラセン歌の広場、三茶
(3/21が祝日のため、第4週の開催です)

※ YMC A NEWS

春の暖かな陽射しが待ち遠しい今日この頃です。春といえば卒業のシーズンです。この春も南センターから7名のリーダーが学生を卒業し社会へと旅立っていきます。期待と不安が入り混じりながら、厳しい社会に出ていく彼らを送り出す身としては、心配もあります。ですが、それ以上に立派な社会人として活躍し、誰かの隣人になってくれるだろうという期待の気持ちの方が大きいです。

リーダー活動の中で、彼らが子どもたちや仲間から得たものは、きっとこの瞬間に自信を持って前に歩めるチカラなのでしょう。子どもたちに一生懸命に向き合い、仲間と切磋琢磨して励ましあった日々はかけがえのないものです。それを糧に前を向いて、自分を大事にし、歩んでいってほしいと願います。そしてYMC Aとの関わりに卒業はありません。リーダーOBとなって、今後もYMC Aを支え続けてくれる彼らの存在は頼もしく、よりセンターを豊かにしてくれることでしょう。3月21日は卒業リーダーの祝会です。今からその準備を送り出すリーダーたちが進めています。

【東京YMC A・南センター今後の予定】

- 3月11日(日)・幼児定例野外活動
- 3月11日(日)・東日本震災・熊本震災支援街頭募金
経堂駅・田園調布駅
- 3月13~16日・スキー実技リーダートレーニング
妙高高原
- 3月26~30日・スキーキャンプ 志賀高原
- 4月8日(日)・幼児定例活動おためし会